

松本勝利先生 『総義歯治療に学ぶ
補綴治療の基礎知識と治療手法』



DOCTOR
MATSUMOTO
KATSUTOSHI

医療法人：慈愛恵真会 理事長
 あらかい歯科医院（福島県）開設
 GLOBAL DENTAL SYSTEM 主宰
 dTI メンバー
 日本顎咬合学会 認定医
 現在、北海道・近畿圏・関東圏・九州圏
 にてセミナーを多数実施中

総義歯治療が成功するには、印象採取の正確性はもとより、人工歯の排列位置、そして咬合の付与の仕方が正確に行われていることは必須条件であるといえます。

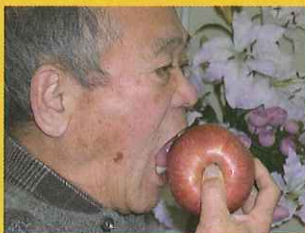
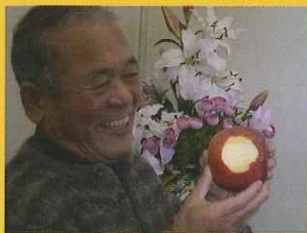
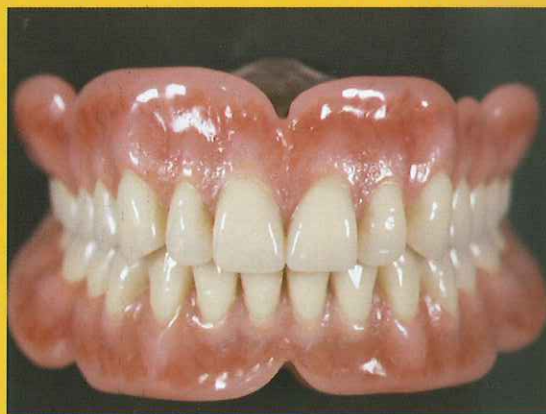
印象採取については、解剖学的な事項を踏まえてダブルインプレッションを行うことによりシンプルかつ正確に行うことが可能となってきています。

そして、口腔内に装着される補綴物が口腔諸組織に干渉することで発生する側方力がかからないようにするために“人工歯排列ポジション”をニュートラルゾーンに排列する事は義歯の維持安定を確保するために重要な事項です。これはインプラント治療を行う際においても上部構造が口腔諸組織に干渉しない位置に設定されるようにインプラントの埋入位置を設定する上で必要な知識であるといえます。同時にニュートラルゾーンに排列するには、適正な咬合高径を与える事も重要となります。

また、GDSで総義歯と与える咬合様式は、「動く総義歯」を想定した咬合様式（両側性平衡咬合）とは異なり、排列位置と咬合を適正に与える事により実現する「動かない総義歯」を想定し、機能咬頭の摩滅防止による咬合高径の現象を可能な限り抑えるべくグループファンクションおよびケイナインガイダンスにて付与する事を前提としており、平衡側においてバランスングコンタクト以外は付与しないようにしています。そしてこの咬合様式は“杭”の存在しない総義歯」上においても機能可能であるため、より強固に咬合を受け止めているいわゆる歯根やインプラントのような“杭”が存在する通常の補綴治療」において歯根やインプラントに側方力を極力かけないような設計が可能となってきます。

そして、これら上記の手法を用いる事により、インプラントオーバーデンチャーを作製するときも役立ちます。

今回、総義歯治療を通して、咬合再構築には欠かせない様々な知識と治療手法をご紹介しますと思います。



■参加お申し込み方法

お申し込みは、下記参加お申し込み欄にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。必要欄に記入された申し込み用紙が届きましたら、弊社より振込用紙を送付させていただきますので、受講料を下記口座にお振込み下さい。ご入金の確認をもって正式受付とさせていただきます。なお、振り込み手数料はご負担いただけますようお願いいたします。

領収書は振込用紙の控えをもって代えさせていただきます。

講演会前1ヶ月（平成23年5月6日）を過ぎてのご解約については、受講料の返金を致しかねますのでご了承ください。

FAX : 078-303-2151

■参加お申し込み欄

参加者ご氏名

	いずれかにチェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> その他
--	---

歯科医院名

--

ご連絡先

TEL:	FAX:
------	------

住所:	
-----	--

E-mail:	
---------	--

神戸空港

空港から5分!

MOKUDA

三宮

新神戸

新幹線から10分!

2011年6月4,5日(土日) 6/4 13:00 ~ 18:00
 6/5 9:30 ~ 16:30
 (6/5のみ昼食付)

- 会場：モクダ歯科研修センター
 神戸市中央区港島南町4丁目7-5
- 定員：80名（定員になり次第、締め切りとなります）
- 受講料： 歯科医師 19,000円
 歯科技工士 15,000円（いずれも昼食代込み）
- お申込み・お問合せ：株式会社 茂久田商会
 TEL 078-303-8241 担当：岡本